

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		文化財保護事業						予算事業名		文化財保護事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	文化財保護法、茨城県文化財保護条例、結城 市文化財保護条例							
				10	05	06	2001	政策経費	根拠法令							
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文							事業の区分		主要事業					
		4-4個性豊かな芸術文化の創造（芸術・文化）														
		②郷土の文化財の保存と活用							担当課係等		生涯学習課					
2文化遺産の調査・保存・活用							文化係									
事業期間		継続（ 年度～ 年度）														
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
文化財保護活用への指導・調査により価値を判断し、応じた保護措置 を取ることにより、後世に歴史資産を伝える。併せて、本市の地域資 源としての活用を検討・実施することにより、市民や観光客等の文化 財に関する見識が広められ、将来にわたり保護活用が推進される。								文化財保護法や県条例、市条例により、文化財保護の方針・取扱いが 定められており、法令に基づき事業を行っている。また、文化財は他 自治体においても、重要な観光資産として保護活用が行われている。								
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】								
○文化財保護法に基づく届出・認可事務・指導事務 ○文化財や歴史 的建造物等の国県市指定及び登録に向けた調査の実施 国登録有形文 化財調査、文化財保護審議会の開催・運営 ○市所有文化財の維持管 理及び文化財活用事業の実施、個人等所有の文化財保全活用に向けた 支援 市史跡の管理委託、文化財の巡視、市指定文化財等への補助金 交付 ○文化財保全・振興に係る各種協議会への参加・情報交換 文 化財関係協議会参加 ○国重要無形文化財及びユネスコ無形文化遺産 「結城紬」関連団体への支援・周知啓発の実施 結城紬保存事業補助 金交付、市内高校生結城紬発表会開催事業補助金交付								・文化財全般（史跡、有形・無形文化財等） ・文化財保全振興に係る団体及び文化財の所有者 ・市民や観光客								
								【事業をとりまく環境の変化】								
								社会環境や生活様式の多様化、文化財への認識低下により、多くの文 化財が滅失・散逸の危機にある。文化財は、本市の歴史を紐解くう えで重要な資源であるが、保全・維持に要する経費は高額で、法的な制 約も多く、本市のみならず、十分な保護措置が取られないケースが多 く存在する。								
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】								
○文化財包蔵地試掘調査の実施 ○木棺修繕（R2,R3継続） ○史跡の維持管理・整備 ○市指定文化財等補助 ○協議会負担金、結城紬関係団体補助、ユ ネスコ10周年事業委託 ○武井地区畑総整備事業に伴う発掘調査				○文化財包蔵地試掘調査の実施 ○史跡の維持管理・整備 ○市指定文化財等補助 ○協議会負担金、結城紬関係団体補助 ○武井地区畑地帯総合整備事業に伴う発掘 調査 ○埋蔵文化財移動、調査室除却工事				○文化財包蔵地試掘調査の実施 ○史跡の維持管理・整備 ○市指定文化財等補助 ○協議会負担金、結城紬関係団体補助 ○武井地区畑地帯総合整備事業に伴う整理 ・報告書作成作業								
■事業費																
				H30年度		R01年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0									
	県		支	出	金	0	0									
	地		方		債	0	0									
	そ		の		他	0	0									
	一		般	財	源	5,847	17,252									
歳入計（千円）				5,847		17,252										
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）										
	08	報償費			0	519										
	09	旅費			49	115										
	11	需用費			217	708										
	12	役務費			60	64										
	13	委託料			4,596	13,954										
	18	備品購入費			0	129										
	19	負担金補助及び交付金			918	1,763										
	27	公課費			7	0										
歳出計（千円）（A）				5,847		17,252										
伸び率（％）						195.05										
備 考	総合計画125ページ 予算書174ページ															

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	文化財の調査・収集体数	点	目標	2.00	2.00	2.00
	市内に残る文化財の調査・収集をおこない、郷土の歴史・文化の保護を図る。		実績	2.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	文化財の公開数	回	目標	5.00	5.00	5.00
	市内に残る文化財を一般公開し、文化財愛護の意識高揚を図る。		実績	5.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	個人所有のものも含め、行政が率先して保護・活用に努める必要がある。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政が主体となることは当然であるが、民間の協力も不可欠であり、体制整備や周知啓発が肝要である。
	手段の妥当性	B どちらも言えない	法的な取扱いが定められているが、関係機関との認識には隔たりがあり、定められた規定の中で、手段を模索していく必要がある。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	文化財の取扱いには専門的知識が必要であり、調査や修復等の費用を要する。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市の地域資源として活用することにより、受益者が偏ることはない。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	現状では必要最低限の事業実施であり、より効果を見出すには、ヒト・モノ・カネの拡充が必要である。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	他自治体との比較では、文化財の数は多いものの、それらを保護・活用する取組み・体制が整えられておらず、十分に達成できているとは言い難い。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
文化財の調査・収集は順調であり、観光資源や学習教材として幅広く活用されている。 文化財の多くが個人所有であり、貴重な物件であっても指定や調査が行えない場合があるため、思ったような保護活動が行えていない。 また、個人所有者の場合、指定を受けると法的な制約や維持管理に要する費用等の負担が生じるため、現行制度以上の支援処置がないと協力が得られにくい。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
継続して文化財の調査・保護事業を推進するとともに、文化財に関する認識を広く図るために周知啓発を強化する。また、観光資源として有効活用できる資源は、広く公開できるよう努め、併せて保護処置・支援の拡充を図る。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 本市に残されている文化財の適切な保存・伝承を図り、市民に対する公開方法など文化財の利活用について、保存場所の検討を含め検討する。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。